

汎用金型で初期費用削減 さまざまな加工方法に強み

納期相談
企画力自信有
コスト相談
試作可
小ロット
量産対応



ロールフォーミングライン

業務内容 照明器具部品を製造・販売

蛍光灯やLED照明に取り付ける照明器具部品を製造・販売する。競合他社が特定の企業に依存した経営で苦境に陥る中、同社は国内の主要照明メーカーの大半に製品を納入し、安定した経営基盤を築いている。プレス、ロールフォーミング、板金加工を手がけており、板金加工では汎用金型を使用しているため、イニシャルコストを削減できる。また汎用金型とさまざまな加工方法を組み合わせた同社の成形技術で、顧客のニーズに合った製品を生産。多くのユーザーから信頼を獲得している。

強み 汎用ラインでコスト削減 カラー鋼板にも強み

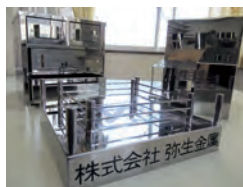
プレスラインは、材料送りからプレス、加工品搬送までをロボットにより自動化している。他社のフォーミングラインは製品ごとにラインが異なることが多いが、同社の汎用ラインではコマを替えるだけでさまざまな製品に対応できるため、少ない初期投資で多様な製品が生産可能だ。自社で金型部門を持つっておりメンテナンスなどが迅速にできるため、短納期にも応えられる。板金加工においては、他社では敬遠されがちなカラー鋼板の加工を得意とし、製品を汚さないよう打抜加工の際に油を使用しないなどの工夫を凝らす。代わりに機械のメンテナンスを丁寧にすることで、精度の維持などに対応している。

若手登用 積極的な若手人材の採用と育成図る

若い人員が増え、従業員の平均年齢が以前の40代から35歳程度にまで下がっている。



若いスタッフも増え活気ある職場



高精度・複雑な製品が生産可能

「経験がなくても柔軟な頭でたくさん吸収してくれる」と古本照彦社長も若手人材の可能性に期待を寄せる。採用を加速させるため平成30年6月にはホームページを改修し、ブログも始めた。その後4名の採用が決まるなど、効果を発揮している。

今後の展望 異業種製品にも取り組み 次の展開を模索

豊富な設備や長年培った加工技術に応用し、今後は照明器具以外の異業種製品にも積極的に取り組んでいく構えだ。展示場で使用する照明レールや病院のダストボックスなどにもチャレンジしており、自社製品の販売も検討している。中小企業庁の「ものづくり補助金」で導入が決まった最新のハイブリッドドライブペンダーなども活用し、次の展開を模索する。

また同社はライン移動によるジョブローテーションを3〜5年ごとに実施しており、多能工化の促進を目指す。海外との競争にさらされる大量生産ではなく、少量多品種への対応にさらなる磨きをかけていく。

当社の歴史



昭和22年4月に大阪市都島区で電球や自転車部品などのプレス加工メーカーとして創業。蛍光灯の普及を見越し、同24年には照明器具部品製造の板金メーカーへ事業の転換を図りました。平成14年に現在の大阪府東大阪市に移り、照明器具部品の専業メーカーとして営業を続けています。

代表取締役社長 古本 照彦さん

<http://yayoi kinzoku.co.jp/>

主な事業内容

ロールフォーミング加工、
板金・プレス加工、
照明器具部品の製造

主な取引先(納入先)

照明器具メーカー、
厨房部品メーカー

●住所

〒578-0921
東大阪市
水走3-12-40

●TEL

072-961-8411

●FAX

072-962-6966

●創業

昭和22年4月

●設立

昭和40年4月

●資本金

2,000万円

●従業員

43名